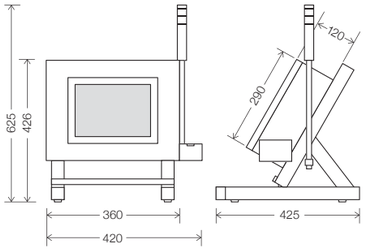
認証端末仕様



本体寸法	360(W)×120(D)×290(H)mm 指紋認証スキャナ部含まず	使用範囲温度	0～45℃ (指紋認証ユニットは0～40℃)
本体重量	9kg　総重量13.4kg	使用範囲湿度	30～90%RH (結露無きこと)
設置条件	垂直 (斜めに設置する場合は垂直より45°以内)	指紋認証精度	他人許容率=0.0001%以下
電源	AC100V	指紋認証スキャナ	画像センサ =指内散乱光直接読取方式センサ センサエリア=14.6×18.1mm 密度=512dpi
モニタサイズ	8.4インチSVGA		

プリントアウト対応一覧

①入退場状況画面	○	⑤システムログ画面	×	⑨入退場履歴	○(CSV形式)
②入退場レポート	○ (CSV形式)	⑥業種マスタ	○ (CSV形式)	⑩月次入場者集計	○(エクセル形式)
③マスタ画面	×	⑦所属会社マスタ	○ (CSV形式)	⑪就労者月報	○(エクセル形式)
④初期設定画面	×	⑧入場者マスタ	○ (CSV形式)	⑫就労者時間月報	○(エクセル形式)

管理用ソフトウェア(マネージャ)の動作環境

対応OS	Microsoft／Windows XP SP1以上 Microsoft／Windows VISTA SP1以上 Microsoft／Windows 7 32Bit端末に限る	ディスプレイ	解像度1024×768以上
		通信環境	ブロードバンド必須 (FTTH推奨)
CPU	Intel Pentium 500MHz以上	アプリケーション	Excel2000以上
メモリ	512MB以上	その他	Digital Persona製指紋認証スキャナ (U.are.U4500)

生体認証の種類と特徴

「ISO日本国内委員会(2005)」をもとに作成

情報	普遍性	唯一性	永続性	コスト	拒否率(%) ※1	受入率(%) ※2	データ量(Byte)
指紋	◎	◎	◎	◎	1	0.01	250
顔	◎	△	△	○	5	5	2000
静脈	◎	○	○	△	1	0.01	500
掌	◎	○	○	△	0.1	0.1	10
虹彩	◎	◎	◎	△	10	10^{-6}	200
声紋	◎	△	△	◎	10	10	1500
署名	◎	△	△	◎	5	5	1000

その他、網膜、耳形上、DNAなどがあります

※1:本人に関わらず拒否される率　※2:他人に関わらず受入れられる率

⚠ ご注意　正しく安全にお使いいただくため、ご使用の前に必ず「取扱説明書」をよくお読みください。

●このカタログに記載の製品に関するお問い合わせは下記までお願い致します。●改良のため予告なく仕様を変更することがありますので、あらかじめご了解ください。
※Microsoft, Windows, Windows NT, office, Excelは、米国Microsoft Corporation の米国および他の国における登録商標または商標です。

Safety Solutions Eastec

株式会社イーステック
www.eastec.co.jp

本社(開発室)　〒532-0004 大阪市淀川区西宮原1丁目7-36　TEL 06-6393-9345　FAX 06-6393-9441
大阪営業所　〒566-0062 大阪府摂津市鳥飼上4丁目6-21　TEL 072-653-4010　FAX 072-653-4123
名古屋営業所　〒458-0031 名古屋市緑区旭出2丁目1621　TEL 052-895-7029　FAX 052-895-7039
東京営業所　〒120-0005 東京都足立区綾瀬7丁目5-14　TEL 03-3606-6736　FAX 03-3606-6783
広島開発室　〒735-0021 広島県安芸郡府中町大須1丁目15-2　TEL 082-281-1452　FAX 082-281-1451

[地区代理店]

2011.5

Made in EASTEC.

入退場管理システム「プロゲート」PG-2fa

ProGate

生体(指紋)認証による確実な入退場処理を実現!

Safety Solutions Eastec

入退場管理システム「プロゲート」

ProGate

建設現場や工場の入退場をスムーズ&トータルに管理
セキュリティに優れた管理運用システムを実現

Safety Solutions Eastec

主な機能と特徴

速やかで確実な入退場処理
新型指紋認証ユニットの採用により認証速度を上げ（弊社従来機比較）、指紋による認証とタッチパネルでのスムーズな入退場が可能です。

入退場者の閲覧
現在の現場入場者・本日の延べ入場者、高齢者などをPCで表示。インターネット対応なので、現場と事務所が離れていてもブラウザを使用し現状を把握できます。
（※右表参照）

生体認証
生体認証は貸し借りがないため、なりすましを防止できます。またそのなかでも指紋認証は1：N検索にすぐれ、大規模現場への対応も可能で、他の生体認証や入退場システムよりもコストや確実性で有利です。（※右表参照）

入場者の事前登録・入退場情報の出力
インターネットを使用し事前に入場者の登録及び、新規入場者アンケートの入力が可能です。また、現場の入退場履歴の印刷・電子データ化が容易に行えます。

小規模～大規模現場に対応
入場者数の数に合わせて認証端末が増設できます。またシステムの高速化により大規模現場においてもスムーズな認証が可能です。

入退場者の閲覧

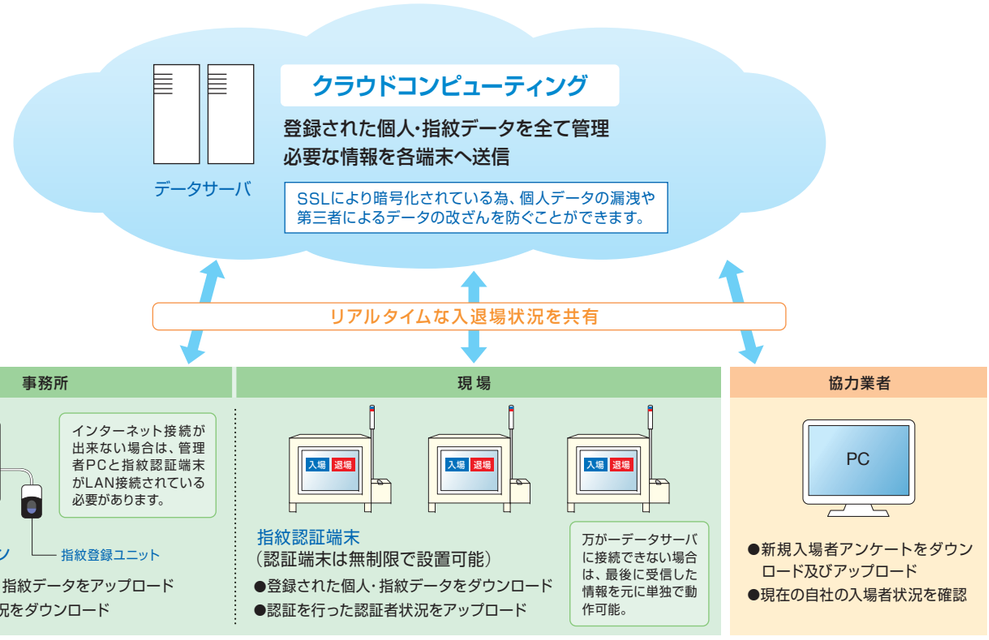
①入退場状況画面のグラフ部分をクリック
②入場者の詳細を別ページで表示

①入退場状況画面　②入退場状況画面（詳細情報）

生体認証

認証方法の比較			
	指紋認証	カード・RFID	パスワード
なりすまし	○	×	×
認証速度	○	○	×
紛失	◎	×	△
運用コスト	○	×	○

システム構成図



入退場管理システム 運用手順